

平成 30 年度第 8 回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 平成 30 年 11 月 22 日（木） 18：30～20：05

【場 所】 厚田保健センター

【出席者】 14 人（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	築 田 敏 彦	○	委員	加 藤 亞 弓	○	委員	平 賀 敏 和	○
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	河 合 徳 秋	○	委員	三 浦 崇 史	○
委員	東 幸 子	○	委員	河 合 保 郎	○	委員	本 吉 俊 一	○
委員	大 内 さつき	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	森 田 瞳	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	今 光 江	×	委員	吉 村 貴 文	○

※正副会長を除き、あいうえお順

企画経済部～本間次長・三上主任

堂屋敷課長・加藤主査・和田主任

支 所 ～ 西田支所長・相原市民福祉課長

佐藤主査・今野隊員・江崎隊員

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・川村主査

(地域振興課)

【傍聴者】 0 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 協議事項

① エネルギー地産地消事業化モデルについて

② 地域振興事業 基金活用提案について

③ 地域おこし協力隊 活用検討結果について

④ 将来の地域自治区のあり方について

5. 報告事項

① 市政懇話会について

6. その他

7. 閉会

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

・開会の前に、今委員から欠席の連絡があり、また、東委員から少し遅れる旨の連絡があったので報告する。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

- ・遅かった雪も降り始め、いよいよ冬将軍が到来した。まだ風邪をひいた方はいないと思うが、体調には十分ご留意いただきたい。
- ・本日は、地域おこし協力隊の活用検討結果について、厚田区地域おこし協力隊検討委員会から柴田委員長が出席されていることをご報告する。

3. 情報交流（リラックス タイム）

- ・厚田 150 周年記念事業について（三浦委員）
- ・イルミネーションについて（あつたクリニック前－小山委員、厚田小学校前－小笠原委員）
- ・望来小学校閉校記念式典について（加藤委員）
- ・厚田の文化祭について（大内委員、今野隊員、江崎隊員）
- ・ハタハタ漁の状況について（吉村委員）

4. 協議事項

エネルギー地産地消事業化モデルについて

【 企画経済部企業連携推進課 堂屋敷課長 】

- ・7月の地域協議会で本事業の概要について説明させて頂いた。本日はその後の説明と、近々検討委員会の開催を予定しているので、その参加についてお願いに伺った。
- ・この事業は厚田区内に太陽光パネルと小型風車を設置、そこで得られた電力から水素を生産、貯蔵型燃料電池も整備し、必要な時に道の駅や統合校などに電力を供給し、地域で消費されるエネルギーの一部を支えるというもの。
- ・事業の大きな目的は、停電しにくい、災害に強い地域づくりに寄与すること。先の北海道胆振東部地震もあり、電力確保の重要性は以前にも増して認識されており、この流れに乗って事業を進めたい。
- ・また、発電の際に生じる「熱エネルギー」の有効活用など、新たな地域振興の方策を地域の方と検討していきたいと考えている。
- ・設置場所については、現段階では厚田学園の隣接地に太陽光パネルと燃料電池を、道の駅北側 200 メートルの位置に小型風車の設置を想定している。
- ・燃料電池については、避難所で 300 人が 1 週間程度生活できるだけ供給可能な蓄電能力を備えるもの。
- ・事業実施スケジュールは以下のとおり。
 - ① 2018 年度 検討委員会立ち上げ、事業プランの構築
 - ② 2019～20 年度 設備導入
 - ③ 2021 年度 運用検証、地域エネルギー供給会社の設立
 - ④ 2022 年度 施設への売電開始
- ・第 1 回検討委員会を 12 月 11 日（火）に開催する。2 回目は 2 月下旬の予定。
- ・委員構成は学識経験者（北海道大学）、石狩市金融協会、北海道電力、東芝、防災まちづくり協会、地域の関係団体。
- ・地域の関係団体は「厚田自治連合会」と「厚田区地域協議会」から 1 名ずつ参加をお願いしたい。

【 築田会長 】

- ・熱エネルギーの規模はどれくらいのものを想定しているか。

【 企画経済部企業連携推進課 堂屋敷課長 】

- ・大規模ではないが、システムがフル稼働するとそれなりの量になる。

【 築田会長 】

- ・他に質問はないか。

【 小笠原委員 】

- ・検討委員会に参加すると、エネルギー供給会社の運営に関わることになるか。

【 企画経済部企業連携推進課 堂屋敷課長 】

- ・検討委員会では、この事業で実施することを協議する。
- ・会社については公募を想定しており、検討委員会とは別と考えている。

【 築田会長 】

- ・委員就任について、立候補する方はないか。

【 委員一同 】

—なし—

【 築田会長 】

- ・なければ、渡邊副会長を推薦したいが如何か。

【 委員一同 】

一了承一

【 築田会長 】

- ・では、地域協議会からは渡邊副会長の推薦を「決定」する。

地域振興事業 基金活用提案について

【 築田会長 】

- ・私が実行委員長の立場で提案させて頂く内容があることから、この協議事項の進行は副会長にお願いする。

【 渡邊副会長 】

- ・本日の提案について説明願う。

●厚田水彩画展芸術文化振興事業の提案について

【 厚田アクアレーン実行委員会 築田実行委員長 】

- ・地域協議会の皆様には日頃より大変お世話になり、今年も4回展を無事終える事ができた。改めて、この場をお借りして感謝とお礼を申し上げる。
- ・実行委員会では4回展を終え、様々な角度から振り返りを行い、今回も展覧会・移動展を通して出品する側・観覧する側から、多くの「励まし」「ねぎらい」の言葉や次回の展覧会にも「必ず出品します」「頑張ってください」「楽しみにしています」などの数々の声を頂き、主催者として大変うれしく思っているところ。回を重ねる毎にこの展覧会への関心の高まり、認知度・知名度の広がりを感じており、実行委員一同5回展に向けた決意を新たにしたい。
- ・基金活用について、まず、今回の事業を「水彩画を通して多くの方々に厚田を訪れ、知ってもらい。優れた作品に触れ心豊かな人間性を育んでもらいたい」という目的で前回に引き続き実施する。(資料1参照)
- ・5回展の具体的なスケジュールは以下のとおり。(予定)
- ・募集期間 2019年7月中旬～2020年5月中旬(約11ヶ月間)
- ・作品審査 2020年6月中旬
- ・表彰式 2020年7月25日(土)
- ・展覧会 2020年7月26日(日)～8月9日(日)(15日間)
- ・募集部門については、4回展より新設した「小部門」を含む2部門で5回展も進めていく。
- ・新年度募集に係る全体事業費は40万円を見込んでおり、基金の活用については、その2分の1にあたる20万円を活用したく、ご提案させて頂く。ご審議の程よろしく願います。

【 渡邊副会長 】

- ・質問、意見など無いか。
- ・特に無いようだが、承認するという事でよろしいか。

【 委員一同 】

一了承一

【 渡邊副会長 】

- ・それではこの事業の基金活用について、「承認」する。

地域おこし協力隊 活用検討結果について

【 厚田区地域おこし協力隊検討委員会 柴田委員長 】

- ・これまでの「検討経過」と「将来に向けた制度活用の方向性」について検討会として一定の方向性がまとまったので、ご報告させて頂く。
- ・当検討会は昨年11月に設置され、『地域協議会』から築田会長と渡邊副会長、『地域振興団体』から、やまどりの小林和悠さんと資料室サポートの会の私(柴田肇)、『産業団体』から、農協 小笠原英史さん、漁協 中井寿美子さん、商工会 小山玲子さんの7名が委員となり、昨年12月よりこれまで「6回」検討を進めてきた。
- ・この検討会設置の目的は、将来に向けた制度活用のあり方・方向性を導き出すこと。最初の2回は、道の駅 テナントでの就業により欠員となった協力隊の補充の有無について議論を重ね、結果本年5月 新たな1名の採用に至った。
- ・その後4回に渡る検討会では、道内各市町村の現状、厚田区地域おこし協力隊の検証・振り返りを経て、今後どの様にこの制度を活用して行くべきかを、農業や観光振興に係る方々、更には現協力隊にも出席を頂き、それぞれの視点から今後どうあるべきかのご意見も参考とさせて頂き議論を重ねた。
- ・また、採用にあたっては住宅事情等についても十分考慮するべきであることが確認され、厚田区が目指す「地域おこし協力隊の将来の姿」(資料2)と「31年度の募集要項(案)」(資料3)をまとめた。
- ・これまで同様、厚田区地域おこし協力隊には自由な発想で主体的に地域おこしの「企画・実践」を最大の活動テーマ

として掲げており、また、31年度からは隊員が4名となることから、協力隊の事務所となる拠点を区内に構え、協力隊同士で地域おこしの議論が交わせる場として、また地域住民が自由に出入りできる場とすることで、地域のコミュニティの場となり、地域の声を引き出し、地域住民との連携、さらには近年厚田と係りのある大学生なども視野に、協力隊・地域・若者との融合で新たな地域おこしに取り組んでいける体制・拠点づくりを目標に掲げた。

- ・また、「将来の姿」として、求める人物像、3年間の大枠のプロセスも同時に掲げており、活動の経過・展開の中で、より細かなプログラムを必要に応じ打出し、進めて行くこととしている。
- ・次に、31年度の募集要項(案)については、住宅事情等も考慮した中で、募集人員は2名とし、活動のテーマについては、数多くの項目を掲げ 広く応募いただける様 間口を広げた。
- ・また、2次審査では個々の想いを確認する意味で、前回同様プレゼンテーションをして頂くこととしており、地域おこしに対する意欲から人物像に見合う人材であるかを確認していく。
- ・いずれにしても、地域おこしは「人」全ては「人」によって大きく左右されるものと考えており、より良い人材を見極め導入できるよう募集に向け引き続き準備を進めていく。
- ・以上、検討会としての一定の方向性として「将来のあり方」と「31年度における募集要項(案)」をご提案する。ご審議の程、よろしく願いたい。

【 築田会長 】

- ・質問はないか。

【 小笠原委員 】

- ・募集要項(案)では「3年後の起業」とある。ハードルが高いと思うが如何か。

【 厚田区地域おこし協力隊検討委員会 柴田委員長 】

- ・協力隊終了後は「就業」も含めて想定しているので、語句を修正し対応する。

【 築田会長 】

- ・その他、質問はないか。
- ・検討委員会の提案どおり、進めるということによろしいか。

【 委員一同 】

一了承一

【 築田会長 】

- ・それではこの検討委員会の提案について、「承認」する。

将来の地域自治区のあり方について

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

- ・前回の会議では、これまでの厚田区での地域の取り組みを振り返り、確認した。
- ・今回の資料は、前回確認した地域振興団体について、設立のきっかけ、目標、成果をまとめたもの。
- ・地域での様々な熱い思いをもとに、各団体が地域協議会の応援を得て、特色ある地域づくりを進めてきたことを確認する意味合いで資料を提示させて頂いた。

【 築田会長 】

- ・合併後、地域を元気にしようという思いから成果を生んできた。これまでの活動は地域協議会の場があったからできたと思う。
- ・これからも地域協議会の後押しが必要と考えるが、これに賛同する方は挙手頂きたい。

【 委員一同 】

一全員挙手一

【 築田会長 】

- ・皆さんが必要と思っていることが確認できた。
- ・地域の声を活かす考え、地域活性化のアイディアはないか。

【 河合徳委員 】

- ・各団体で重複して活動している人がかなりいる。
- ・活動を続けていくことが理想だが、それぞれの団体の活動をまとめていくことも必要だと思う。

【 森田委員 】

- ・それぞれの団体は非常に頑張っていると思う。
- ・各イベントでは、運営団体も参加者もいつも同じ顔ぶれなので、まとめるとスマートに運営できると思う。

【 東委員 】

- ・例えば「食」に関する活動をまとめるなど、活動内容を分野別に明確にすればスマートにできると思う。

【 渡邊副会長 】

- ・これまでの活動は地域自治区があったからできたことであり、今後も新規、既存に限らず、団体を応援していくこと

が大事だと思う。

- ・団体や活動と一緒にするのもひとつの考えだが、目的や成り立ちなど、それぞれ似て非なるところもある。
- ・それよりも厚田では若い人も少しずつ戻ってきているので、若い人をどう巻き込んでいくか考えることも大事だと思う。

【河合保委員】

- ・町内会の活動を通して日頃から町内を回り、高齢者からは相談を受けてそれぞれ対応しているが、若い人は仕事もっていることもあり、なかなか聴く機会がない。

【築田会長】

- ・聚富地区の状況はどうか。

【本吉委員】

- ・地域協議会の委員になってわかったことだが、地域と地域協議会がどう関わっているか偶々まで伝わっていない、携わってみてはじめてわかったこともある。それぞれの団体の活動でも同じことが言えるのではないか。活動について、どう知ってもらうか、わかってもらうかが課題だと思う。
- ・また、地域協議会として、ひとつの課題を深く掘り下げて協議していくことも協議会の方向性としてあったほうが良いと思う。

【小笠原委員】

- ・私は農協の立場から参加しているが、農業や漁業の課題が地域協議会で議論されることはなかなかない。例えば、農業・漁業関係者に来てもらい話をするのも良いのではないか。

【築田会長】

- ・加藤委員は、PTAとの関わりなどから感じていることはないか。

【加藤委員】

- ・保護者の活動においても、深く関わっている方とそうでない方に偏りがあると感じる。活動に加わっていない方を新たに引き入れることが難しい。地域でも同じではないかと思う。新しい方を取り込む良い方策があればもっと活動の幅が広がると思う。

【築田会長】

- ・確かに新たな声がなかなか出てこない状況にある。
- ・地域との共有を進めるにあたって、より身近な自治会や町内会との連携を一層強化することが必要と思うが、如何か。

【東委員】

- ・自治会と連携を図っても、自治会活動に若い人がつながっていないと新たな形に結びつきづらいのではないか。

【河合徳委員】

- ・我が家では今春から息子が帰ってきて、一緒に農業に従事している。農協青年部にも加入し、いろいろな活動をしている。
- ・若者にも地域を盛り上げようという思いが芽生えていると感じている。

【築田会長】

- ・漁業関係者はどうか。

【吉村委員】

- ・漁協青年部は組合員と従事者で構成している。部員数は減っており、活動に関わりたくないという人もいる。
- ・若い人は地域として活動するという考えは薄いのかもしれない。時間はかかるが、何か手助けできればと思う。

【築田会長】

- ・農協漁協青年部による「俺たちの夏祭り」も回数を重ね盛り上がっている。
- ・望来でも若い方が帰ってきて、盆踊りを復活させたいとの思いで自治会等とも相談し、今年10数年ぶりに開催された。また、先日の望来小学校の閉校式典では「自分たちの卒業した学校のために」という強い思いから皆が集まり、行動し、当日も遠くは静岡や千葉、東京から卒業した方が駆けつけた。
- ・若い人などの何かをやりたいという思いが、身近な町内会や自治会に届き、話し合われ、それが地域協議会につながることで、厚田区にもっと新たな波、良いアイディアが生まれてくると思うが如何か。

【大内委員】

- ・そのとおりだと思う。

【平賀委員】

- ・発足自治会の役員は若い人が多く、いかに中高年の方を含め巻き込んでいくか考えている。秋の発足神社祭では、5年ほど前から若い人が中心になって、発足会館に露店を出し好評を得ている。地域によってはそのような取り組みもしている。

【 築田会長 】

- ・本日の皆さんからの意見をまとめると、
 - ① これからも地域のことを話し合う「組織」、住民の活動をバックアップする「場」は必要である。
 - ② 地域の声をより活かしていくため、「自治会」との一層の連携が必要である。
 - ③ 地域活動を活性化していくために、若い人の声を引き出し、活かしていくことが必要である。
- 以上の意見があったが、皆さんから他のご意見はないか。

【 委員一同 】

—なし—

【 築田会長 】

- ・これまで3回にわたり将来の地域自治区のあり方について協議してきたが、この3つの意見をまとめとしたい。

【 委員一同 】

—了承—

【 築田会長 】

- ・では、厚田区地域協議会としてこの3つの意見をもって、今後も特色ある地域づくりを進めていくことを確認する。

【 渡邊副会長 】

- ・今回の方向性をもとに、皆で具体的な話し合いを進めて行ければと思う。

5. 報告事項

市政懇話会について

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

- ・11月19日、厚田保健センターにて厚田区自治懇話会が開催されたのでご報告する。
- ・厚田区自治連合会の主催で、市長以下市職員18名、自治連合会10名のほか、地域おこし協力隊2名、望来の新規就農者「飛ぶ鳥農場」の角野さんの計31名が参加し、市と地域の情報交換が行われた。
- ・市長からは「石狩の未来」と題し、石狩市の人口の推移、道の駅の現状、「北前船」日本遺産認定、厚田学園建設工事着工などについて講話をいただいた。厚田区は人口が減っている地域ではあるが、新聞や雑誌でいろんな話題になる、とにかく元気がある地域だという話をされている。
- ・行政説明は「石狩市風力発電の設置及び運用の基準におけるガイドライン」(環境市民部環境保全課)、「厚田地区におけるエネルギー地産地消事業化モデル」(企画経済部企業連携推進課)について説明があった。
- ・厚田区からは地域おこし協力隊の今野さんによる「アートでまちおこし」、同じく江崎さんによる「自然ガイドでまちおこし」、飛ぶ鳥農場 角野さんから「今までとこれから」と題した活動報告をいただいた。
- ・情報交換後は、厚田産の食材で作ったご飯を食べながら親交を深め、終始和やかな雰囲気のもと懇親会が行われた。

6. その他

地域おこし協力隊活動予定について

【 (厚) 地域おこし協力隊 今野隊員 】

- 「第9回 おしゃべり上映会オペラ編」について
 - ・日時：12/26(水) 1回目 10:00~12:00、2回目 14:00~16:00
 - ・会場：厚田保健センター多目的ホール
 - ・題材は「ヘンゼルとグレーテル」
 - ・参加費 200円(飲み物、おやつ代として)
- 「落語上映会」について
 - ・日時：12/27(木) 1回目 14:00~16:00、2回目 18:00~20:00
 - ・会場：厚田保健センター多目的ホール
 - ・題材は「芝浜」「文七元結(もっとい)」
 - ・参加費 200円(飲み物、おやつ代として)
 - ・是非ご来場いただきたい。

○次回の日程について

平成30年12月19日（水）17時00分～ みなくる

平成30年12月19日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 築 田 敏 彦